

一ツ瀬川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、一ツ瀬川水系においても事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、あらゆる関係者の協働により流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図



■被害対象を減少させるための対策

【水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫】

- ・立地適正化計画の検討・展開
(災害リスクの高い区域を「居住誘導区域」から除外)
- ・独自の「防災対策推進区域」を設定し、防災・減災対策の推進や災害のリスクを周知

【まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実】

- ・土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【洪水氾濫対策】

- ・河川改修、河道掘削、堤防補強、橋梁架替 等
- ・海岸保全施設の整備（掘削土砂の活用）

【内水氾濫対策】

- ・排水樋門の改修（調査・検討中） 等

【土砂災害対策】

- ・砂防堰堤の整備 等

【流水の貯留機能の拡大】

- ・利水ダム等5ダムにおける事前放流等の実施、体制構築（関係者：県、企業局、九州電力）

【森林の整備・保全、治山施設の整備】

- ・森林整備・保全（造林・間伐・下刈り等）による土砂流出抑制、保水力の強化 等
- ・治山ダム、山腹工等による土砂流出防止 等

【流域の雨水貯留機能の向上】

- ・ほ場整備の推進、農業用ため池の整備・改修 等
- ・排水機場の更新 等



■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

【リスク情報の提供・充実】

- ・洪水浸水想定区域図の作成・データ提供 等
- ・洪水・土砂災害ハザードマップ等の配布による啓発 等
- ・農業用ため池ハザードマップの公表・周知 等
- ・マイ防災マップ・マイタイムラインづくりの推進 等
- ・水位計・河川監視カメラ等の増設、安定した情報の提供 等
- ・I P 告知端末の整備と個別通知機能拡充 等

【防災・避難体制の強化】

- ・避難訓練、ハザードマップ等を活用した防災訓練 等
- ・備蓄資材の確保・水防資機材の点検 等
- ・防災士養成研修や出前講座 等
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の支援 等
- ・防災情報の共有

【防災学習・啓発の推進】

- ・テレビ、ポスター等による啓発（防災の日、防災週間） 等
- ・小学校等と連携した防災学習による水防災意識の醸成 等

【早期復旧・復興への備え】

- ・樋門・樋管等の確実かつ効率的な運用を行うための検証 等
- ・新たな洪水浸水想定区域図を踏まえた水防倉庫やアクセス路の見直し 等
- ・公共施設・ライフライン等の機能維持対策の検討 等



■グリーンインフラの取組

※別紙「流域治水とグリーンインフラの連携」を参照

立地適正化の検討・展開

海岸保全施設の整備（掘削土砂の活用）

河川改修

砂防堰堤の整備

奥南川

鬼付女川

排水機場の整備

追手川

宮崎市

護岸、河道掘削 橋梁架替 等

河道掘削 堤防整備 等

樋門の改修 等

ほ場整備 ため池 等

要配慮者施設の避難訓練

たため池ハザードマップ

ダムを事前放流

立花ダム 長谷ダム 寒川ダム 南川 一ツ瀬川 一ツ瀬ダム 西都市 西米良村 椎葉村

杉安ダム

新富町

天神川

土地利用・住まい方の工夫

①都市機能誘導区域 生活サービスを維持集積するエリアを設定

②誘導施設

③居住誘導区域 居住を誘導し人口密度を維持するエリアを設定

④具体的施策 各エリアに都市機能や居住を誘導するための施策

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

一ツ瀬川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

●一ツ瀬川では、平成17年の台風14号により甚大な災害が発生したため、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国・県・市町村等が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短期】河道掘削による流下能力向上、下流部においては堤防補強や堤防嵩上げを実施するとともに、被害の大きかった三財川において築堤、越水対策を行う。

【中～中長期】上下流のバランスを踏まえ堤防整備を継続的に実施し治水安全度の向上を図るとともに、雨水貯留機能向上の促進や森林保全・治山施設の整備、内水対策や避難体制の強化を進め、流域内の被害軽減を目指す。

■河川対策 (約153億円)
■砂防対策 (約1億円)

区分	対策内容	実施主体	工程			
			短期	中期	中長期	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	宮崎県	河川改修、河道掘削、堤防補強、橋梁架替等			
	土砂災害対策	宮崎県	砂防堰堤の整備等			
	流水の貯留機能の拡大	宮崎県、企業局、九州電力	利水ダム等5ダムにおける事前放流等の実施、体制構築			
	森林の整備・保全、治山施設の整備	西都児湯森林管理署、宮崎県、西米良村、森林整備センター 西都児湯森林管理署、宮崎県	森林整備・保全(造林・間伐・下刈り等)による土砂流出抑制、保水力の強化等			
	流域の雨水貯留機能の向上		西都児湯森林管理署、宮崎県	治山ダム、山腹工等による土砂流出防止等		
			宮崎県、西都市、新富町	ほ場整備の推進		
			宮崎県、西都市	農業用ため池の整備・改修等		
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫 まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実	宮崎市、西都市	立地適正化計画の検討・展開(災害リスクの高い区域を「居住誘導区域」から除外)			
		宮崎市	独自の「防災対策推進区域」を設定し、防災・減災対策の推進や災害のリスクを周知			
		宮崎県	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	防災情報、避難体制の検討・連携強化	宮崎県	水位計・河川監視カメラ等の増設、安定した情報の提供等			
		新富町	避難訓練等			
		宮崎県	防災情報の共有			
	土地のリスク情報の充実・提供		宮崎県	洪水浸水想定区域図の作成・データ提供等		
			宮崎県、宮崎市、西都市、新富町、西米良村	洪水・土砂災害ハザードマップ等の配布による啓発		
			宮崎県、西都市	農業用ため池ハザードマップの公表・周知		
			西米良村	IP告知端末の整備と個別通知機能拡充		
防災学習の推進		宮崎県	テレビ、ラジオ、ポスターによる啓発(防災の日、防災週間)			
		宮崎県、新富町	防災士養成研修や出前講座 小中学生を対象とした土砂災害の啓発			
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然川づくり	宮崎県	生物の多様な生態、生育、繁殖環境の保全・創出(瀬、淵、河畔、ワンド等の保全)			
			河川景観の保全・創出			
	自然環境の保全・復元などの自然再生	宮崎県、西都市、新富町、西米良村、西都児湯森林管理署	湿地等の貴重な自然環境の保全			
			生物の多様な生態、生育、繁殖環境の保全・創出			
	魅力ある水辺空間・賑わい空間創出	宮崎県	川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持			
自然環境が有する多様な機能活用の取組	宮崎県、西都市、新富町、西米良村	水辺空間のレジャー等の利用 小中学生や任意団体等による環境学習				

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。